

公益財団法人日本宇宙少年団 令和3年度 事業計画書

はじめに

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、計画していた事業のほとんどが自粛や中止を余儀なくされ財団運営にも影響を及ぼす中、国や自治体の緊急事態に対する様々な給付金制度の活用、賛助金やご寄附によって財団運営の維持に役立てることができました。

今年度は、コロナ禍に対応したオンライン講義や開催に工夫を講じながら従来事業を可能な限り実施していき、財団運営が停滞しないよう維持・発展に努めたいと思っております。

公益財団法人日本宇宙少年団の活動は、全国の指導者の英知と善意をもってその活動がなされており、その活動を賛助下さる関係各位のご理解とご支援により遂行できていることにつきまして、これまで同様に心より感謝を申し上げます。

上記を踏まえ、以下に今年度の各事業における具体的な取り組みを記載します。

I. 人材育成事業（公1）

未来を担う青少年に、宇宙及び科学をテーマとした体験・体感型学習を通して興味や関心を喚起させ、青少年の宇宙への夢を育む人材育成を目的に、以下の事業を行います。

1. スペースキャンプ事業
2. 情報発信（宇宙教育テレビ、宇宙情報誌等）事業
3. webによる普及啓発事業
4. 将来の特定の活動「2020年宇宙の旅」事業（特定費用準備資金）

1. スペースキャンプ事業

（1）種子島スペースキャンプ

ロケット打上げ射場のある種子島で宇宙・自然・交流をテーマとした体験学習を行います。

JAXA種子島宇宙センターの見学や専門家による講義、水ロケットの工作・打上げを行うほか、種子島の歴史や自然を体験します。全国から集う異年齢の小中学生を対象に、普段とは異なる環境の中で宇宙開発の本物に触れ、様々な学びや共同生活を通して、友達との関わりを深めていきます。

時期：夏休み

場所：鹿児島県・種子島

対象：小学4年生～中学生の団員及び一般

(2) YAC宇宙レポート in 種子島

種子島宇宙センターより新型ロケット「H3」の打上げ応援の一環として、「YAC宇宙レポート in 種子島」の打上げ見学を計画します。

時期：未定

場所：鹿児島県・種子島

対象：団員及び一般の親子

(3) 筑波スペースキャンプ

昨年延期となったオリンピックが開催される今年、アスリートと同じく宇宙飛行士も心身ともに鍛えることの大切さやスポーツ競技と同じく宇宙開発もチームワークが大切であることや国際宇宙ステーションでは、現在「英語」が公用語の一つとなっており、様々な国の人たちと一緒に仕事をするうえで、相手の意見を聞いたり、自分の意見を言えるコミュニケーションが大切であることを学びます。

時期：夏休み

場所：JAXA筑波宇宙センター

対象：小学4年生～中学生の団員及び一般

2. 情報発信（宇宙教育テレビ、宇宙情報誌等）

(1) 宇宙教育テレビ

宇宙関連トピックや宇宙教育イベントに合わせ、JAXA宇宙教育センターや外部と連携して当財団職員が番組づくりに協力・出演等を行い、子どもや一般視聴者に分かり易く紹介します。

(2) 宇宙情報誌等

宇宙に関わる様々な分野や研究者の活動紹介、そして宇宙及び科学に関する最新のニュース、新しい科学の発見などを誌面で紹介し、子どもたちの宇宙及び科学に対する関心・好奇心を育むことを目的として「宇宙のとびら」の編集に協力します。この情報誌「宇宙のとびら」をJAXA宇宙教育センター（発行）及び（公財）日本宇宙少年団（編集協力・団員配布）の連携により、年4回（6月、9月、12月、3月）発行し、団員や賛助企業等への発送をはじめ、分団活動や財団事業で配布し広報活動等に役立てます。

(3) YAC通信の発行

これから予定するイベントの告知や終了したイベントの報告、分団での活動紹介やこれから設立される分団の情報等を年4回（6月、9月、12月、3月）発行し、情報誌「宇宙のとびら」と一緒に団員へ発送します。

(4) 団員への送付物

入団に際し、団員特典として、新規団員は団員証、バッジ、パスポート、冊子、YAC通信、付録教材等を送付します。継続団員は団員証、パスポート、冊子、YAC通信、付録教材等を送付します。

(5) 団員管理システムの維持管理

財団独自に構築している団員管理システムにより、団員一人一の個人情報の適切な管理に努めます。

3. Webによる普及啓発活動

(1) 分団等連携団体との協力推進

宇宙及び科学技術を共通の題材とした子ども達の人材育成には全国の分団との連携協力が不可欠です。そのため、分団等連携団体との連携を図るため、活動委員会が中心となり、全国の宇宙少年団分団との協力推進を行うとともに、体系的な指導方法や共通した育成方法を毎年分団長が集う「分団長会議」の場で実践例を紹介したり、意見交換及び交流等を行います。なお、分団長会議の場で活動委員会が提案する共通プログラムをweb上で開し、各分団長の参加を促します。今年度は、11月20日(土)に、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催する予定です。

(2) 活動マニュアル等のweb公開

YAC指導員のみならず広く一般に、活動教材集やリーダーのためのガイドブックをwebで公開し、活動の素材提供、安全管理や子ども理解等のノウハウを提供します。

(3) webを通じたイベントの取組み

財団主催のスペースキャンプやコンテスト、団員のみならず広く一般を対象とするイベントなど、一般を含む各種事業の参加募集や実施結果等を、webを通して公開し、子ども達の宇宙及び科学に関する普及啓発を行います。また、YouTube Liveなどのライブ配信機能を活用し、全国各地の団員が宇宙について学び、質問ができる機会を提供します。

(4) 講師派遣等

社会教育団体活動の指導者育成を目的とするセミナーをJAXA宇宙教育センターと当財団が主催となり、開催地域と連携協力しながら全国で行います。また、青少年や一般を対象にその他事業として、外部イベント等に講師派遣を行い宇宙及び科学に関する知識の普及啓発を行います。

4. 将来の特定の活動(特定費用準備資金)

2020年宇宙の旅

地域に根ざした活動を充実し、同じ目標に向かって成長する全国組織を目指し、目標を達成させるために全体活動プログラムとして、「2020年宇宙の旅」事業に取り組み、活動の輪を広げています。

本事業は昨年で終了の予定でしたが、コロナウィルス感染拡大に伴い、一部を延期して今年度実施します。

時期：11月20日(土)、21日(日)

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

対象：YAC団員及び指導員

内容：全国の指導員による活動発表、教材研究発表、情報交換会など

II. 管理運営等

1. 会員

ここ数年の分団設立減少に加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、昨年は新規分団設立も

なく、また、連携団体である分団活動も中止が相次ぎ、団員減少に歯止めがかからない状況となっています。

一方、このような減少対策の一つとして、リモートを取り入れたイベント事業の後に新規入団に繋がる傾向がみられることから、宇宙トピックに合わせ、積極的にこのようなイベントを行っていく予定です。また、賛助会員も毎年数件ずつ減る傾向にありますが引き続き将来を担う青少年活動への応援を継続いただけるよう積極的に働きかけていきます。

2. 事務局体制

(1) 要員

事務局は、事務局長と旅行業務取扱責任者を併任する常勤1名と事務局員常勤2名、非常勤2名の計5名体制で事業の運営及び管理業務に当たります。また、スペースキャンプ事業やWebを通じた事業(リモート講義やイベント)には、当財団役員が講師となり、専門性を活かして積極的に関わってもらいます。

(2) 寄附金募集の推進

当財団に対する寄附金については、各それぞれの事業を通じて営業、PRに積極的に努めます。

以 上